

令和五（癸卯）年新春初祈禱会のご案内

みずのとう

恒例となりました新春祈禱会法要を、左記の通り行います。

当山の守護神 帝釈天王様・鬼子母神様の御利益をもつて、皆様方の一年間の円満成就
そして一日も早い悪病の終息を「悪病退散」として御祈念致します。祈願をご希望の方は、
ハガキまたはFAX用申込み用紙にご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

【祈願内容・厄年につきましては別紙をご覧ください】

記

一、日 時 令和五年一月十五日（日）
午後一時より

一、祈願料

- ★ 三千元（木札）縦三十センチ
- ★ 五千元（木札）縦三六センチ
- ★ 壹万円（木札）縦四十五センチ
- ★ 二千元（交通安全祈願札）

※準備の都合上、一月十日までにご返信下さい。

※感染症対策の為、出席される方はマスクの着用を

お願い致します。体調が優れない方は、呉々も

ご無理なさらない様、お願い申し上げます。

※ご出席の方の祈願料は当日で結構です。

御札郵送ご希望の方は、同封の郵便払込用紙にて
ご志納下さい。

※古い御札をお持ちの方は、当日お持ち頂くか
郵送して下さい。当山にてお焚き上げ致します。



大正寺主な年間行事予定

◆朝詣り会（朝のお勤め）

毎月第一土曜日 午前七時

※一月七日・二月四日・三月四日

◆太鼓納め

十二月二十日（火）午後一時

◆新春初祈禱会

一月十五日（日）午後一時

◆ねはん会（お釈迦様のご命日）

二月十五日（水）午後一時

◆彼岸会

三月十八日（土）午後一時

九月二十日（水）午後一時

◆花まつり

四月 八日（土）午後一時

◆せがき会

八月 五日（土）午後二時

◆お会式

十一月十二日（日）午後二時

※写経会は一月はお休みします
二月以降第二土曜日午後二時
開催予定です。

瞑想と唱題行は今暫くお時間を
頂きたく、お願い致します。

大正寺報

令和5年1月号
一 発行一
塚越山 大正寺
住職 中山 恵祐
〒271-0092
松戸市松戸 1386
TEL：047-362-3405
FAX：047-368-8899



「当たり前前」と思わずに

今年も残すところ僅かとなりました。皆様は
如何お過ごしでしょうか？

ここ数年は、新型コロナウイルスに振り回
される日々が続いておりましたが、今の世情を
見てみますと、感染状況に一喜一憂するも、
上手く付き合っていく様な雰囲気になりつつ
あります。とはいえ、インフルエンザと同時
流行の話もある様です。向寒の折、どうか呉々
もご自愛下さい。

私事ですが、八月のお盆が終わり一段落した
頃に体調を崩してしまいました。発熱した事
もあり、この時はコロナ感染も覚悟しました。
幸いにも陰性で、直ぐに回復したのですが、
医師の診察が中々受けられず、不安な思いを
したと共に、数年前までは具合が悪くなったら、
当たり前前様に病院に行つて、当たり前前様に
診察と薬の処方を受けられた事が、「当たり前
前」だった事が、今の医療では難しくなつて
いるのだな、と実感致しました。

考えてみますと、この世の中には様々な「当
たり前」が存在しています。不変的なものと
して、例えば時間の流れや、誰しもがいつか

は訪れる寿命といった「当たり前」。可変的な
ものとして、例えば日本に於いて対価を払えば
手に入る衣・食・住や、飲み水として利用
できる水道水（これは世界的にも稀な事です）
を始めとした、整備されたライフライン等の
「当たり前」があります。後者に関しては、
ごく普通の事に私たちはその「当たり前」
を享受しておりますが、忘れてはいけない事
は、前述した医療の様に、いつかはその当たり
前も崩れる危険性が有る事、そして何よりも
先人や様々なご縁の積み重ね、現場の方々に
よる日々の努力があるからこそ、「当たり前」
が成り立っている、という事です。今回の実
体験を通じて私は改めて痛感致しました。

…ところで、普段その姿を見る事が出来ない
神仏や先祖さまですが、私たち人間が見え
ないと思っただけで、実は「当たり前前」
の様にいつも傍にいらっしゃる存在なのだ、
とお経にも説かれております。これは決して
崩れる事の無い、不変的な事だと信じ、私は
日々手を合わせております。

何かと不安定な世の中ではありますが、今ある
「当たり前前」を当たり前と思わずに、何事にも
感謝の気持ち、手を合わせる気持ちを持ち
続け、そして兎の如く何事にも飛躍が出来る
卯年と成るべく、新年を迎えたいものです。

合 掌



新潟県佐渡市にそびえ立つ日蓮聖人大銅像

大正寺アラカルト

おせがき法要（8月5日）

新型コロナウイルス感染者数が再び急増した時期ではありましたが、久しぶりに近隣寺院のお上人方、参詣者と共におせがき法要を執り行う事が出来ました。
 来年以降はマスク着用の必要がない行事が出来る事を切に願うばかりです。



真間亀井院 西川知孝上人
 栗山本久寺 木村正和上人
 お二人に出仕頂き法要を
 厳修致しました

お会式（11月12日）

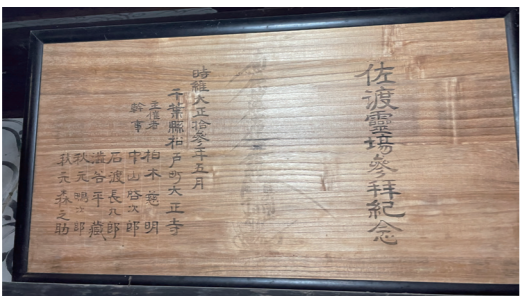
恒例となった講談師一龍斎貞鏡さんによる講談は、「佐渡法難」でした。来年はより多く方に迫力ある講談を聴いて頂きたいです。



【大正寺掲示板】

◆来年は団参旅行を検討しています

十月に千葉県北部の日蓮宗寺院僧侶三十名で、佐渡市（佐渡島）にある日蓮聖人ゆかりの霊跡本山根本寺に参拝を致しました。その堂内には、何と当山が大正十三年に参拝した記念の額が掲げられていました【写真】。



思いがけない事に大変驚きましたが、調べてみますと大正時代に数回、佐渡へ参拝をしたという記録が残っていました。

【大正十五年の大正寺佐渡参拝の際に撮影された写真上写真は根本寺門前と思われる】



今でこそ交通網が整備され、佐渡島といえども一泊二日で充分参拝出来る様になりましたが、新幹線や高速船等当然無い当時の旅行は、大変な一大事業だったに違いありません。

今回強いご縁を感じ、是非檀信徒の皆様と共に、佐渡の地にて先人への思いを偲びたく、来年の暑くならない時期を目標に、団体参拝旅行を企画したいと思えます。新型コロナの状況にもよるかと思いますが、次回の寺報にて詳細のご案内が出来ればと考えております。

◎令和五年に年忌を迎えるお檀家様には該当の仏さまを明記してご案内をさせて頂きます。

※既に年忌法要を済ませた方にもご案内する事があります。何卒ご了承下さい。尚、三十三回忌（平成三年御命日）迄のご案内になります。

法事をご希望の方、三十七回忌以降の仏さまを確認されたい方はお問合せ下さい。

◎四柱推命並びに断易だんえきの鑑定のお問い合わせを随時受け付けております（予約制）。人生相談・仕事の件・人間関係等、運命学に基いて鑑定致します。尚、鑑定料は一回（三十分程）三千円です。